



### 三島みどり会長挨拶

島根県助産師会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当会の運営につきましてご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスにより、当会総会が今年度も書面となりましたが、お陰様で全会員の方からご承認をいただきました。誠にありがとうございました。

コロナ感染症に関連する報道によりますと、国内でもオミクロン株の従来型 BA・1 から派生型の BA・2 に置き換わりつつあるところに、これらの遺伝情報が混ざった「XE」感染者がはじめて判明され、海外では、オミクロン株とデルタ株が混ざった「デルタクロン」や、オミクロン株の派生型「BA・4」と「BA・5」なども報告されているようです（山陰中央新報 2022. 4. 14 一部改変）。疲弊しないよう心身ともによい状態を保っていききたいものです。

このような中、島根県助産師会の活動におきましては、地域では、プレママ・プレパパ、新生児訪問や産後ケアなどの推進、また思春期の性教育や電話相談等が積極的に展開されております。施設では、ハイリスク妊婦が増加傾向にある中、助産師外来や院内助産による産前産後のきめ細やかな支援が多職種連携のもと展開されております。助産師による支援は、対象にとって身体のみならずメンタルヘルスの支援ともなり、妊産婦の不安の軽減や自身の出産育児の確立等に重要な役割を果たしていると思われまます。

令和4年度の母子保健対策関係予算（厚労省）（一部抜粋）を見てみますと、産後ケア事業では安定した事業運営が行われるよう、補助単価の見直し（1自治体当たり単価→1施設当たり単価）が図られています。新規では、母子保健対策強化事業と性と健康の相談センター事業が設けられ、前者は、両親学級のオンライン実施や SNS を活用したオンライン相談など妊産婦等のニーズに応じたアクセスしやすい多様な相談支援を行う等、となっています。後者は、現在、都道府県等が実施している「女性健康支援センター」、「不妊専門相談センター」などを統合して、『性と健康の相談センター事業』を創設し、不妊治療や出生前遺伝学的検査（NIPT）に係る専門的な相談対応等総合的な性や生殖に関する健康支援を行う、となっています。詳細につきましては厚労省 HP でご確認ください。

助産師教育では、2022年施行の新カリキュラムにおいて、産後4か月までを助産師のケアの対象としています。周産期メンタルヘルスや多職種連携による育児支援等の能力強化を図るとして単位数増となっています。

今年度の中四国助産師研修会（当県担当）は、元及び現準備委員会や研修委員会の方々に鋭意準備をさせていただいております。産後ケアや周産期メンタルヘルス、臨床病態生理、災害時対応など充実した研修を用意しております。HP をご覧いただき、是非とも多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様にはご自愛いただき益々のご活躍を祈念申し上げます。そして世界平和が一日でも早く訪れることを心から願っております。

[2022/4/25]

## 最近「助産師ダイヤル」で思うこと



松江地区 川島由紀江

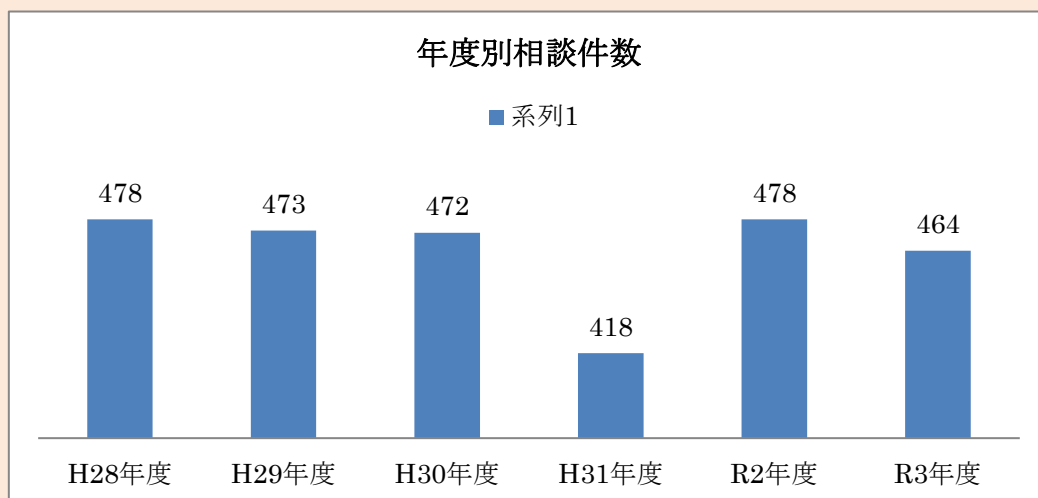
島根県助産師会で電話相談が平成10年にスタートして23年が過ぎました。いろいろな相談機関がある中で、地味でも着々と対応させていただいてきました。最近の年間相談数は多くも少なくもならず500件余りが続いています。この数年はコロナ感染拡大によりオンライン、リモートとかいう言葉が急に飛び交うようになってきましたがライン相談として助産師ダイヤルも時代に沿っているなど今では感じています。対面では話しづらくて、近くに相談するところがない、コロナが怖くて外出を控えている妊娠中の方の相談など今の時代だからこそその需要も増えてきています。電話相談での対応の限界も感じつつも、相談者の声に耳を澄ませて表情や様子を感じ取りながらお話しさせていただくことも多々あります。子供から高齢者までスマホや携帯を持つ現代でこれからも気軽なツールとして利用していただけると感じています。

どんな時代でもその時私たちにできるやり方で少しでも地域の方のためのお力になれるのであればと、毎回緊張しつつももう少し続けていきたいと思っています。

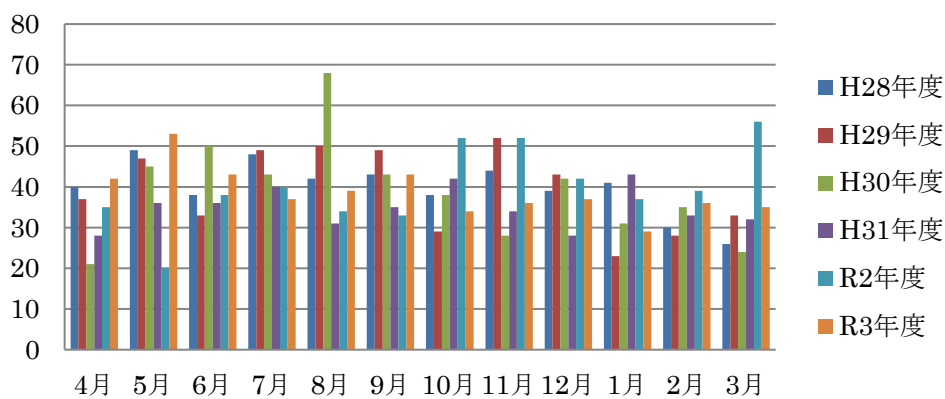
### 助産師ダイヤル利用状況（平成28年度～令和3年度まで）

携帯電話2台使用 担当者：10名

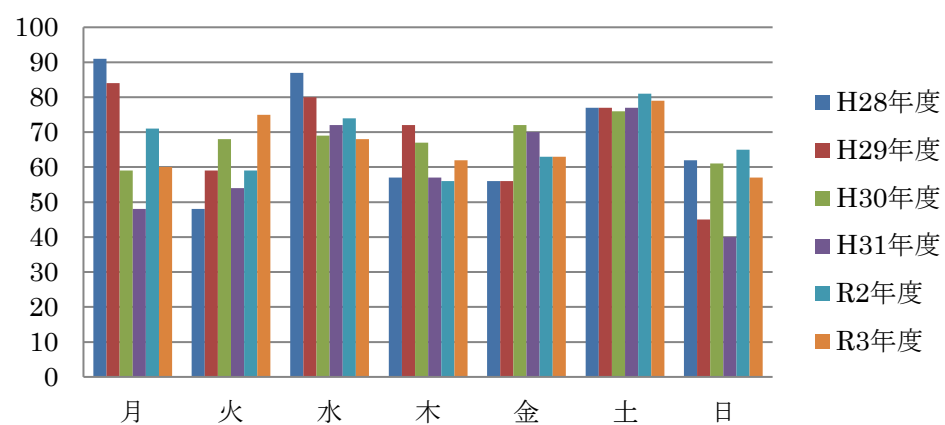
対応時間：令和2年より8：00～23：00



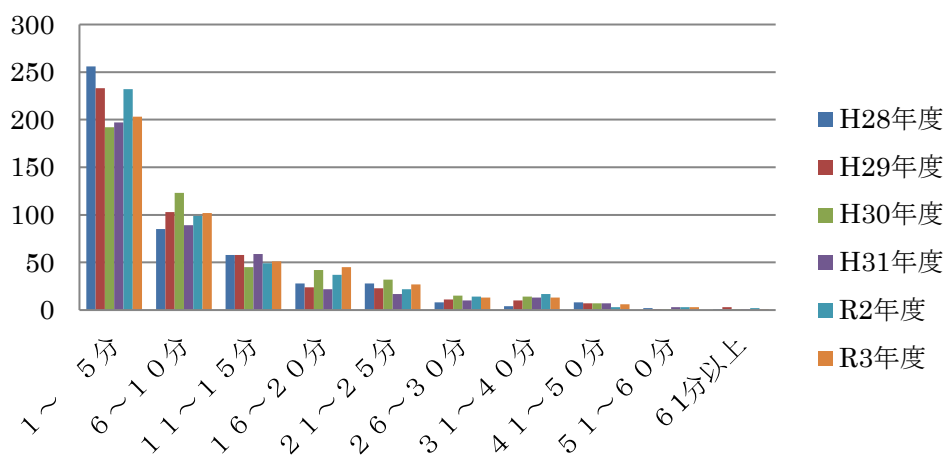
### 月別相談件数



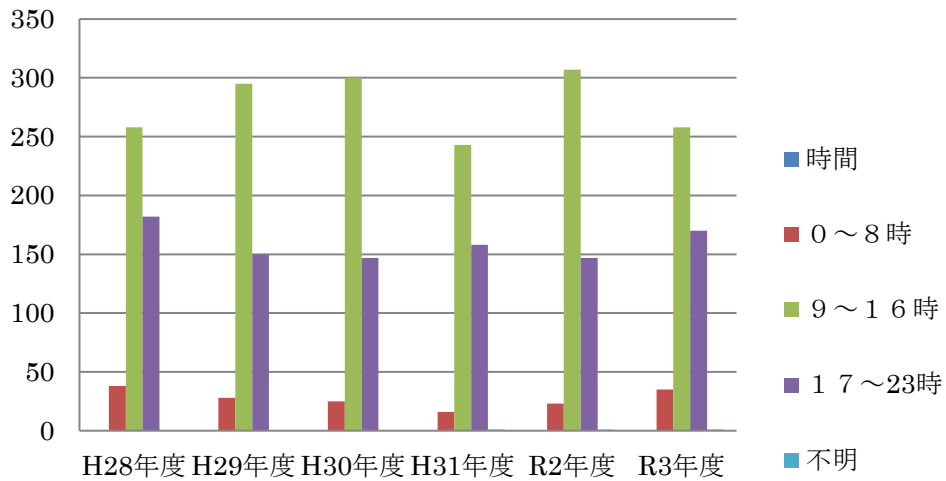
### 曜日別利用数



### 一件の相談時間

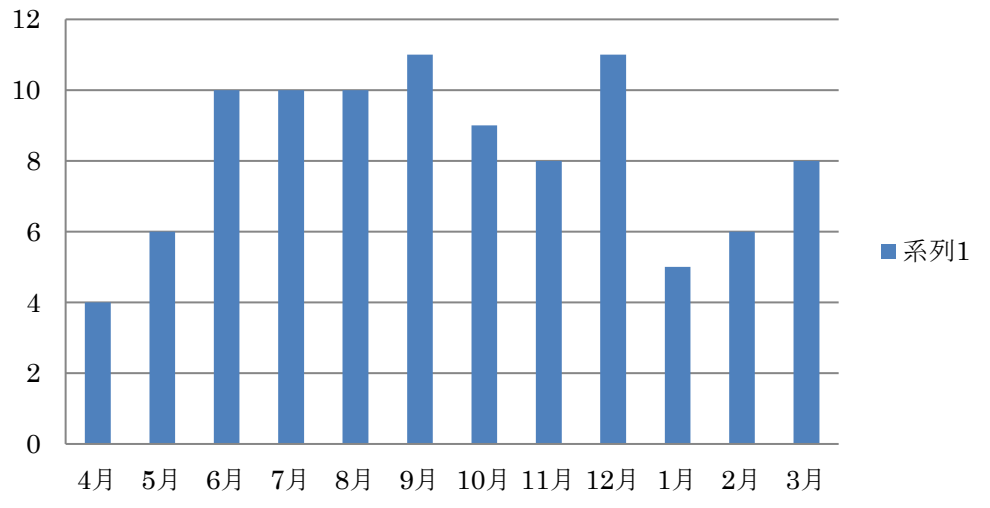


時間別利用件数

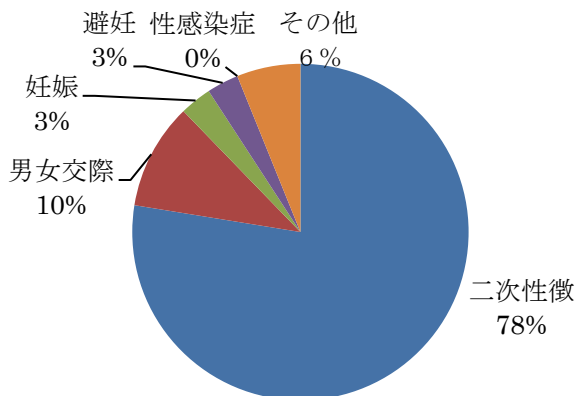


令和3年度 思春期相談

月別相談件数



相談内容別





## 祝 20周年 バースデープロジェクト ～『いのちの楽習出前講座』活動を振り返って～



バースデープロジェクト 加瀬部洋子

令和3年度は、私たち“バースデープロジェクト”チームにとって記念すべき20周年を迎えました。たくさんの方のご縁を頂き、仲間たちの温かい絆でここまで継続できたこと、大変うれしく思います。

振り返ってみますと、全国的に広がってきた助産師の性教育出前講座を、島根県助産師会の事業として位置づけ、平成14年2月性教育検討委員会が出来ました。初めて性教育に携わる会員や、生後三ヶ月の我が子を連れたメンバーもいて、遠慮しながらも意見を出し合い検討していきました。

思春期からでは、性教育は遅いと感じていた私たちは、初めて性に関して質問してくる、幼児とその保護者を対象に、肯定的なイメージで、子どもの素朴な質問に、科学的に答える知識の提供と、誰にでもある“誕生日”の深い意味を考えながら、出産の感動を親子で感じる『いのちの楽習出前講座～お誕生日ってなあに？～』を立ち上げ、同年11月17日第一回の講座が開催できました。

プログラムは、「見て・聴いて・触って・感じてもらえる」よう参加型とし、初年度は手遊び歌やエプロンシアター、紙芝居など、一つずつ教材を手作りし、対象の発達に合わせたシナリオを作成しました。また座談会では、保護者の出産体験を語ってもらい、性や子育てに対する悩みを共有する中で、知識の習得や性教育について考えてもらう機会となりました。その中に市の保健師さんが参加されていて、小学生にも受講させたいと、ご縁が繋がっていきました。

5年目を迎えると、講座の依頼が少しずつ増加したため、誰が担当しても同じ内容の講座が展開できるように、シナリオの追加や修正、教材の整備を行い、実施前に打ち合わせをし、実施後に報告書の作成、ふり返り、プロジェクト全体では、情報共有を図りながら、1～2か月に1度の定例会で、全体の評価や意見交換を行ってきました。またメンバーから講師料の1割を会に寄附してもらい、赤ちゃん人形など高額な教材の購入・修繕等の運営資金となりました。

平成26年、地道な活動が行政や教育機関に評価され、島根県の委託事業として県内全域で実施することになりました。講座数が一気に増加した為、積極的にメンバーを募集、助産師ならではの伝え方や、熱い思いを体感したことで、若いメンバーが増えました。今では44名のメンバーが登録しています。

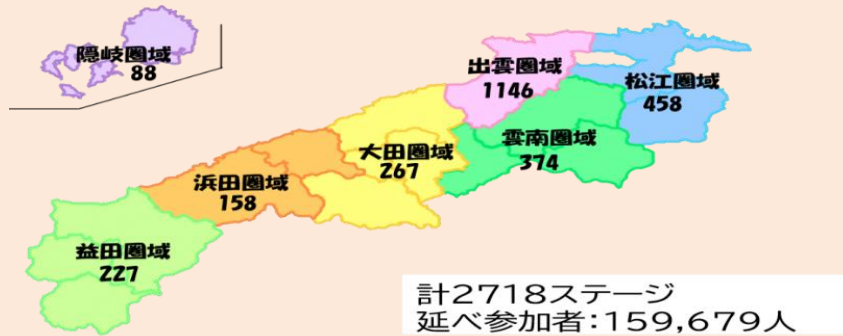
令和3年度は新しい企画として、企業からの依頼や、家庭での夫婦の役割分担について考える両親（父親）セミナーの依頼がありました。感染症が一時落ち着いていた時期の開催だったので、妊婦体験や赤ちゃん人形でのおむつ交換や抱っこなど実際体験でき、イメージが出来たと好評でした。冬季には第6波の感染拡大に伴い、講座の中止や延期、クラス毎での講座の希望など、感染対策に費やされ緊張した期間でした。それでも、34校は中止になりましたが、206校実施できました。

20年間で参加者は累計159,679人、2,718カ所の実施です。年々増加傾向だった講座も、島根県の委託事業となってからは全県下へ広報がなされ、就学前・小学生を中心とした活動から中学生以降の思春期講座が増えています。子どもたちの真剣な眼差しや「どこから生まれるか謎がとけた」と嬉しそうにしている姿や、恥ずかしそうにしながらも、中学生から「悩みがあったけど安心した」「自身の将来について考える契機になった」と感想をもらったり、保護者から子育ての原点に戻れたと、涙ぐみながら前向きな意見も頂き、助産師としてのやりがいを感じています。

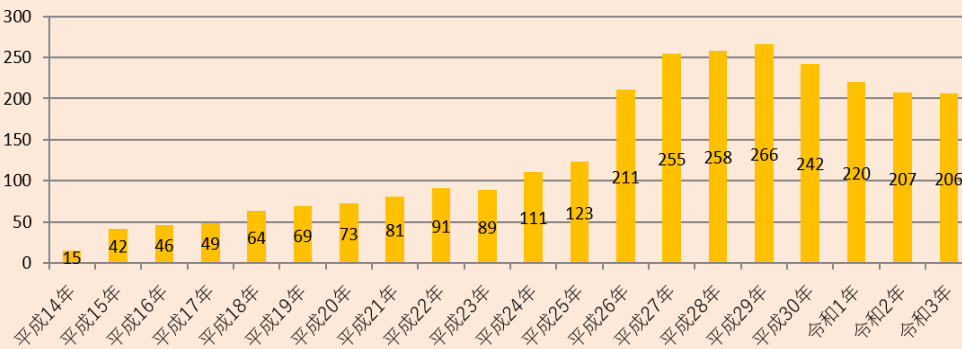
仲間を信頼し努力して作りあげた“バースデープロジェクト”。感性豊かに向上心を持って活動したいといます。

## ～バース デーププロジェクト 20年間の実績～

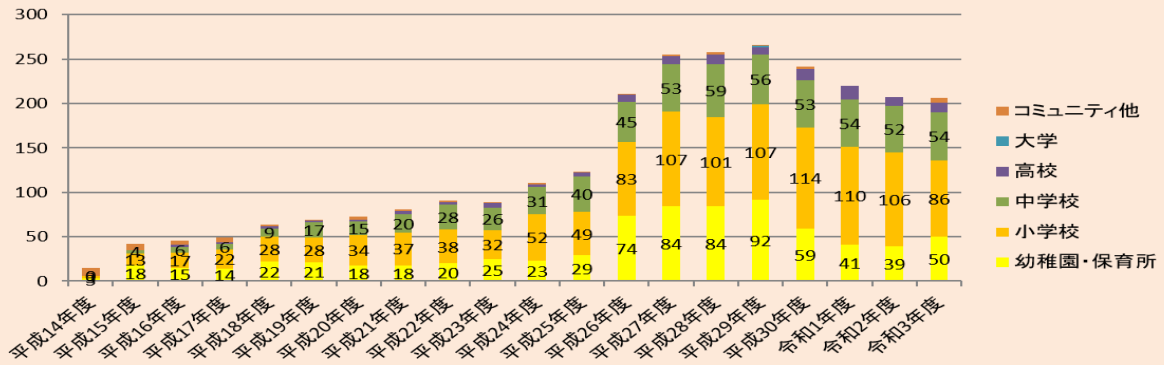
1. 圏域別：20年間総数 \* 出雲圏域での開催は、4割を占める。



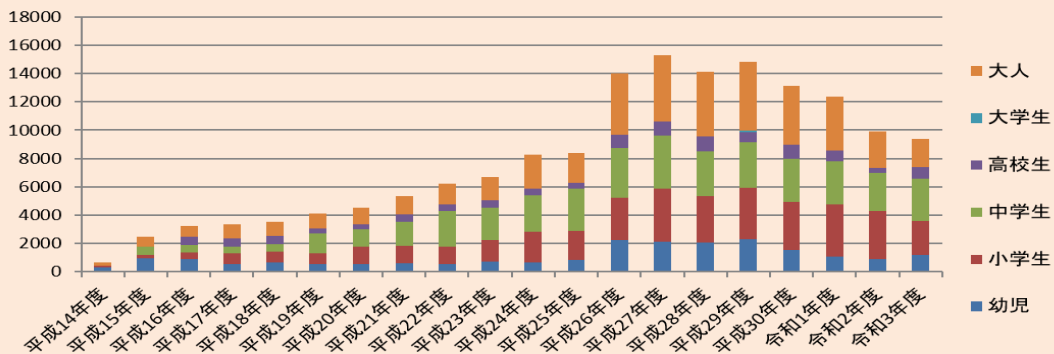
2. 年度別：20年間総数 \* 平成26年度より県委託を受ける。



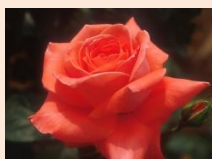
3. 場所別：20年間総数 \* 小学校4割、幼稚園・保育所3割を占める。



4. 対象別：20年間総数 \* 大人3割、中学生3割を占める。



## 2022（令和4）年度中国四国地区助産師研修会開催に向けて



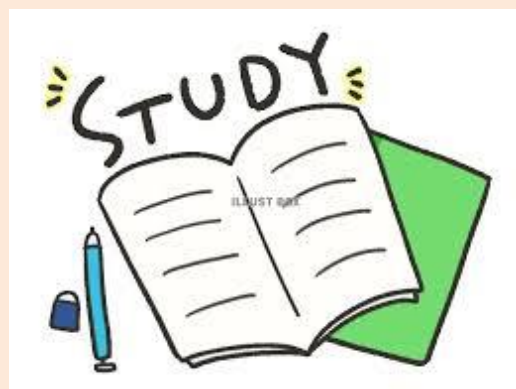
令和3年度準備委員長 上野繁子

今を去ること3年前の春、2年後（2021年）の秋の開催を目指して研修会準備委員長を拝命しました。どんな研修会にしよう、どんな講師陣に講演をお願いしよう・・・色々な思いを胸に、2019年9月第1回目の準備委員会をスタートしました。翌年のお正月頃には、日時、開催場所、テーマを検討し、島根の特色ある研修会にしようと準備委員の皆がワクワクしながら委員会を行っていましたが・・・

2020年新型コロナウイルスの感染がパンデミックとなり、この年の全国の地区研修会は中止。得体のしれない感染症は、1年たってもおさまるところか変異を続け、2021年は香川県が当番県でしたが、対面の研修会を長く計画されていたにもかかわらず、結局はオンライン開催での研修会となりました。私たち島根県はどのような方法で開催したら良いのかわからず、途方にくれる日々が続きました。

2021年春、このままでは対面での研修会は開催できない、オンラインでの研修会にしようと、三島会長のご英断もあり、理事会での承認を得て、6月常任理事5人で準備委員会を再編しました。感染が落ち着いているときは対面で、感染が拡大しているときはオンライン会議での準備を進め、2022年10月8日（土）ZOOM 研修・10月10日（月）～11月30日（水）オンデマンド配信にて島根県担当の研修会を開催する運びとなりました。（詳しい内容は2022年度総会資料の中にありますチラシをご覧ください）

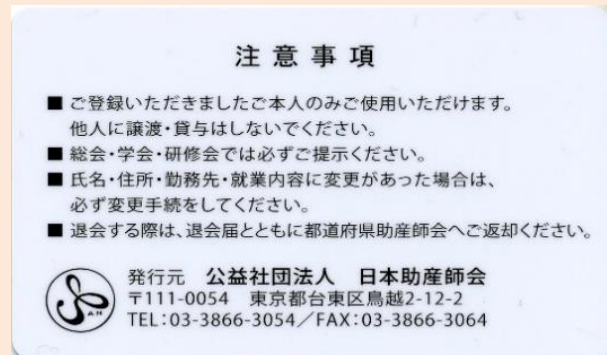
島根県の産後ケアの実践報告、周産期メンタルヘルスや臨床病態生理、災害時対応と盛りだくさんの講演です。島根県の会員の皆様方のたくさんの御参加を心よりお待ちしております。



## お知らせ



### 1) (一昨年度より)会員証が新しくなりました ※永久使用です。



- ・ 変更時は日本助産師会 HP から届け出を必ず行ってください。
- ・ 会員証（裏面）には「退会する際は、退会届とともに都道府県助産師会へご返却ください」と記載されておりますが、会員証は返却の必要はありません。

### 2) 島根県助産師会の HP に会員登録がまだの方は ぜひ登録をしましょう。

会員専用のページ には

- ・ 研修案内/申し込み
- ・ 新型コロナウイルス関連情報
- ・ お知らせ
- ・ 活動報告
- ・ 関連学会/市町村等の研修案内
- ・ 資料
- ・ 会員情報の確認
- ・ 会員情報変更届

などの機能があります。

※ホームページの活用、アドレス登録方法については、総会資料をご参照ください！

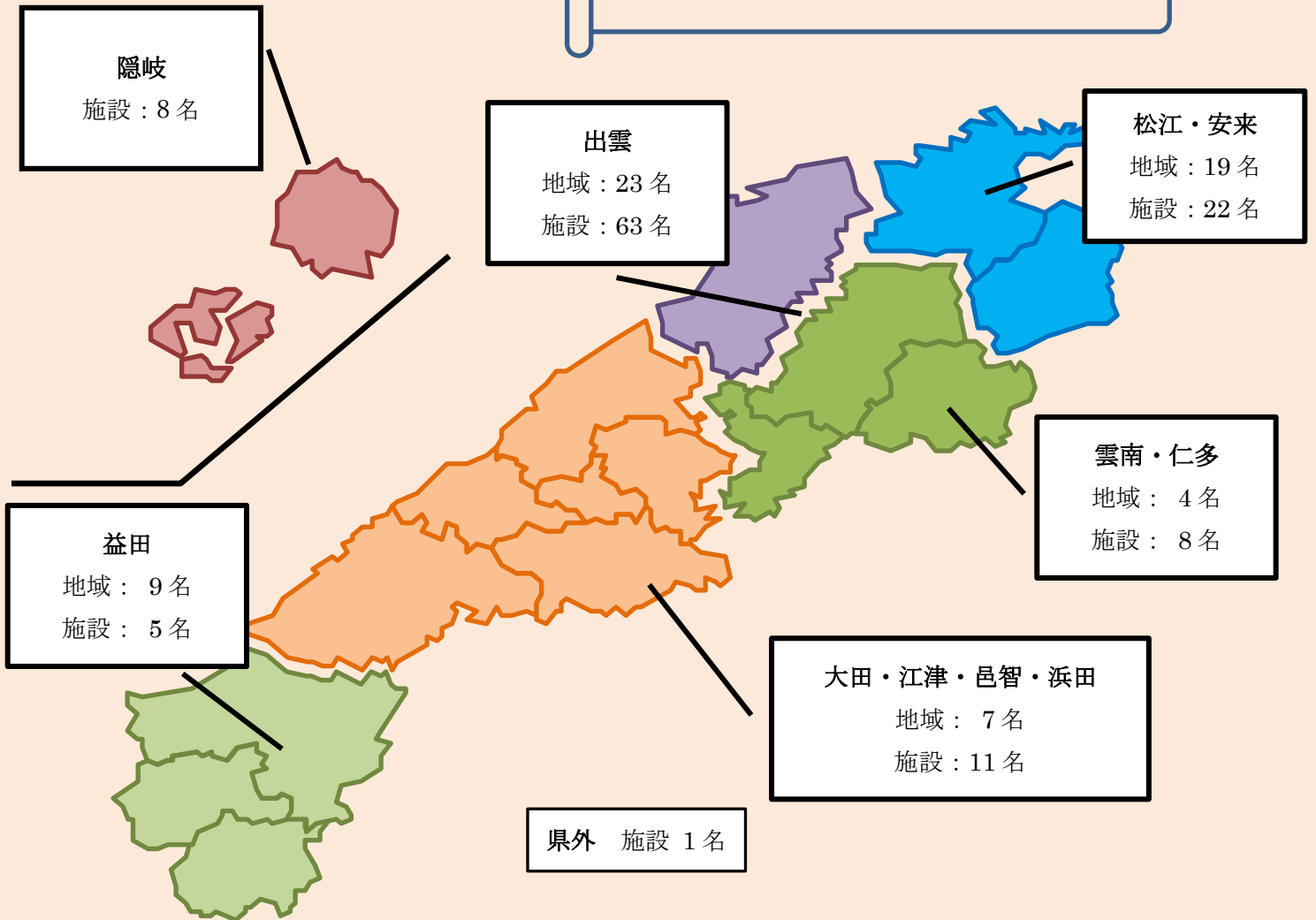


～島根県助産師会員 MAP～

地域別、会員数

島根県助産師会 会員数 180名

2022.3 月末現在



～編集後記～

お忙しい中、原稿作成にご協力下さいました皆さま、本当にありがとうございました。

世界的に様々なニュースが飛び交う中、皆さまがそれぞれの現場で、性教育や母子・ご家族サポートを熱心に頑張っておられる状況に本当に感動です。

最後になりましたが、会員の皆さまのより一層のご活躍と、ご多幸をお祈り申し上げます。

編集担当

比良 静代